

永畑町二丁目第2公園 (仮称) ワークショップだより

第2回

八尾市 都市整備部 土木建設課
令和5年10月

9月3日に始まった、最も身近な公園づくりワークショップの2回目が、10月1日に26名の参加で行われました。今回は、子ども連れでも参加できるよう、小さい子どもの保育コーナーを設けたこともあり、子育て中のパパ・ママも多くご参加いただきました。

最初に、第1回ワークショップの内容をふり返り、ワークショップや公園についての情報をおさらいしました。つづいて、①新しく生まれる公園でしたいコト ②したいコトのためがあると便利なモノの活動をふり返り、グループ成果を一つに整理したチャート(右下の図表)を、全員で共有しました。

第2回ワークショップでは、前回の内容を受けて、公園の間取り(ゾーニング)のグループワークの成果を共有しながら、全体の理解によって合意案ができました。そのあと、間取りの中にどんな施設があると、めざす公園の夢がかないやすくなるかについて、施設のイメージ写真にシールを張って思いを表現し、個々の思いを認め合いながら、取り入れる施設の選び方について、その考え方を共有しました。

参加したみなさん全員が、「楽しかった」「役立つものがあった」と感じていらっしゃいました。



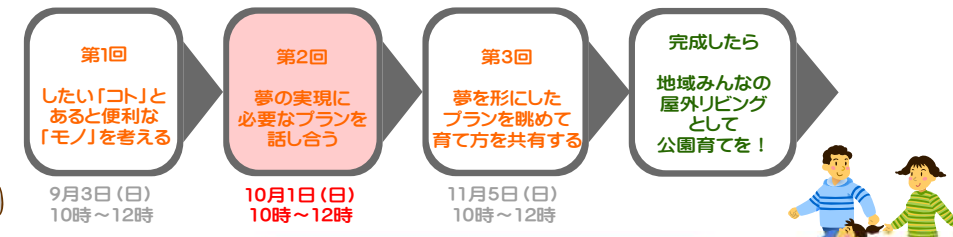
永畑町二丁目第2公園(仮称)整備事業
●事業位置: 八尾市永畑町二丁目地内
●面積: 約2,000㎡
●公園種別: 街区公園
●整備スケジュール
令和5年度: ワークショップ開催 および実施設計
令和6年度: 公園整備工事

第2回ワークショップの内容

- ① ワークショップって、公園って何でしたっけ
- ② 第1回ワークショップのふり返り
- ③ 公園の間取りを考えよう
- ④ 間取りに合わせた施設を考えよう

ワークショップの流れ

全部で3回行われるワークショップですが、各回のゴールと全体の予定はどうなっていましたか。



公園の種類と全体像

ワークショップとは、に続いて公園についても復習しました。

第1回のワークショップだよりで、ワークショップの作法をふり返りましたので、今回は公園の全体像と、最も身近な永畑町二丁目第2公園(仮称)の位置をふり返ります。



第1回ワークショップのふり返り

【公園づくりに必要な「コト」と「モノ」】 (第1回ワークショップのまとめ)

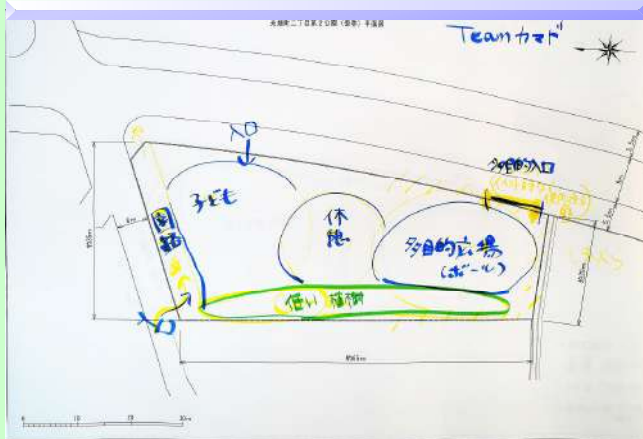
より全体的なイメージ	1列	2列	3列	4列	より部分的な施設
A 健康を支える公園	健康増進に役立つ公園になっている	バスケットボールができる場所がある	スポーツ器具が用意されている	バスケットコート、バスケットゴール	
		体操できる場所がある	体操できる器具が用意されている	健康道具(足ツボ刺激を含む)	
		ラジオ体操ができる場所がある	多目的広場が確保されている	グラウンド	
		軽スポーツを楽しむことができる	野球やテニスなどの球技ができる場所がある	広場	
B 憩いの場になる公園	公園がアウトドアリビングになっている	休憩できる場所がある	日よけや雨よけになる場所が用意されている	屋根のある休憩所(テラコッタ屋根、イス付)	
		お花見ができる公園になっている	花木の植栽や花壇が設けられている	イス	
		趣味を楽しむ場所がある	花育ができる場所が用意されている	芝生広場、こかげ	
		読書を楽しむ場所がある	読書を楽しむ場所がある	きれいな花(桜、花壇)	
		安心して休憩できる	おむつ交換できる場所がある	広場、芝生(座る場所)	
		外に出る楽しみを提供できる公園になっている	ぶらぶら歩きが楽しめる公園になっている	花壇	
C 子育ての場になる公園	子どもが自由に遊べる公園になっている	多様に楽しめる児童の遊び場がある	ボール遊びができる	グラウンド	
		あらゆる子どもを排除しない公園になっている	熱くならない遊具で遊ぶことができる	熱くならないすべり台、ブランコ	
			水遊びができる場所がある	噴水、円形シャワー	
				プール	
D 交流を支える公園	世代間交流ができる公園になっている	多目的なイベントができる場所がある	マルシェやフリーマーケットができる場所がある	広場	
		語らいの場がある公園になっている	動物とのふれあいイベントができる場所がある	屋根のある休憩所(テーブルとベンチ)	
		家族で楽しめる公園になっている	家族デートができる場所がある	屋根のある休憩所(四阿など)	
				ピクニックができる場所がある	
E 安心できる公園	防災に役立つ公園になっている	一時避難場所の安全が確保されている	炊き出しをすることができる	かまどベンチ	
			断水時に使えるトイレがある	災害時トイレ	
			非常時にも使える水がある	備蓄倉庫	
			急な雷雨からの避難場所がある	避雷小屋	
		公園内への自転車の乗入れを抑える対応ができている	駐輪スペース		
		犯罪の防止や証拠の確保と安心感を増す設備がある	防犯カメラ		
		交通や防犯などの安全意識を高める工夫がされている	安全を楽しく学べるサイン		

● - 押し
● - カードに書かれた「コト」
● - カードに書かれた「モノ」
● - ファシリテーターが補足したカード

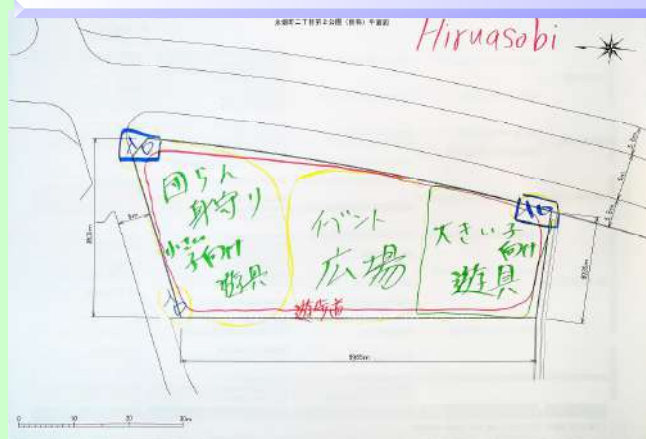
ワークショップではこんな思いや考えを共有しました

公園の間取りを考えよう

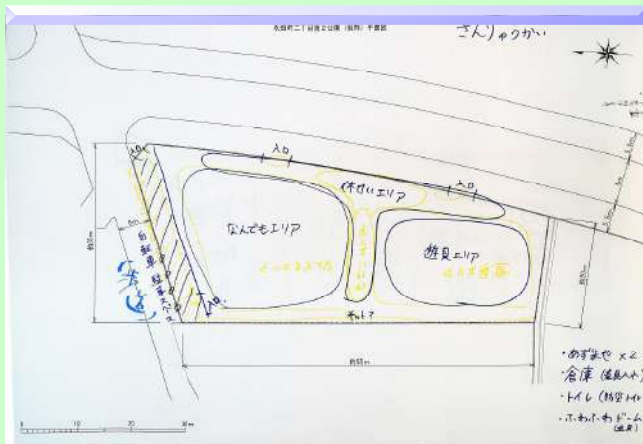
Teamカマド



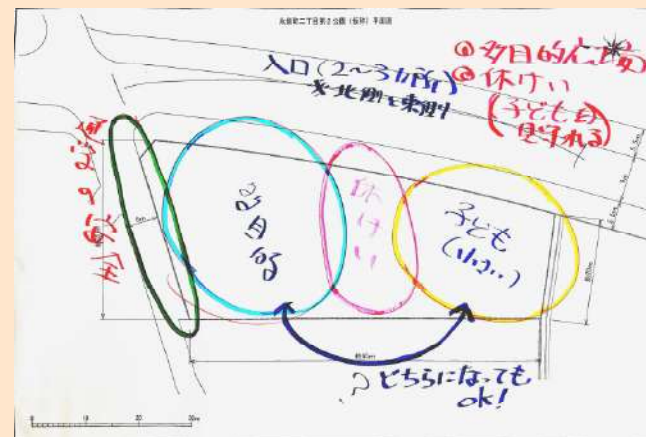
Hiruasobi



讚龍会 (龍華を讚美する会)



ワークショップの合意案



【共有した公園の骨格】

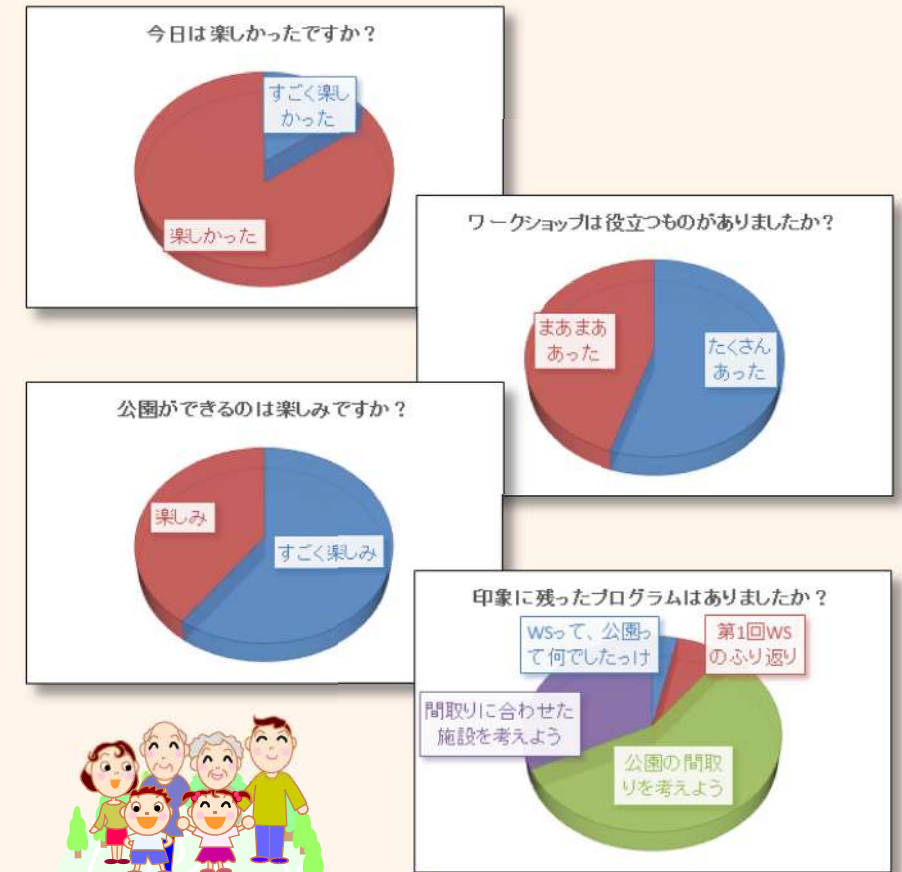
- ◎多目的広場と子どもの広場は、南北どちらに配置してもかまわない。
- ◎休憩の場は、公園を見渡せるよう真ん中に設ける。
- ◎北側には歩道がないので、公園敷地を使って通学路の安全を確保する。
- ◎入口は、北側1箇所と東側2箇所程度で考える。
- ◎住宅側は低い木を中心に構成を考える。

間取りに合わせた施設を考えよう

◎取り入れたい施設にシールを張って、それぞれの思いを表現し、共有しました。囲みをつけた施設イメージには、比較的多くの人の思いが寄せられていました。



第2回ワークショップはどんな印象でしたか？



ワークショップには、10代、20代、70代を除く各世代が参加されており、30代が半数を占める結果となりました。人生の先輩方からは、子育て世代の参加が増えて良かったという声が寄せられています。

ワークショップについては、参加者の全員が楽しめた、気づきや発見があったと感じておられ、これから生まれる公園について考えるなかで、全員が公園の誕生を楽しみにされているようです。

プログラムの中では、公園の間取りを話し合うことや、施設に対する思いをシールで表現することが印象に残ったと感じる人が多かったようです。

第3回ワークショップのご案内

第3回ワークショップでは、この紙面でお知らせした、第2回ワークショップの成果をかたちにした、公園のプランを共有。ご意見をお聞きし、完成後の公園育ての可能性についても話し合う予定です。

次回ワークショップは、11月5日(日)10:00~12:00に、龍華コミュニティセンター3F集会室(保育コーナーあり)で開催します。

ワークショップに関するお問い合わせや、第2回ワークショップに参加した方のお申し込みについては、下記までご連絡ください。

問合せ先: 八尾市都市整備部土木建設課
担当: 太田(おた) 072-924-3879